3-(5) 道路工品質管理一覽表

種別	試験区分	試験項目	試験基準	規格値	試験値又は管理値						備考 (試験方法等)		
					No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6		平均値	設計値
路体・路床工	材料	土の突固め試験	当初及び土質変化時									JIS・A1210	
		CBR試験(路床)	当初及び土質変化時									JIS・A1211	
	施工	現場密度の測定	路体 1,000m ³ に1回	最大乾燥密度の85%以上		No.			No.				最大粒径53mm以下 砂置換法 JIS・A1214 最大粒径53mm超 突砂法 舗装調査・試験法便覧(4)-182
			路床 500m ³ に1回	最大乾燥密度の90%以上		No.			No.				
		ブルーフローリング	路床仕上げ全幅全区間について実施		良好 不良(内容: ※不良の場合の措置:)						舗装調査・試験法便覧(4)-210		
下層路盤工	材料	突固め試験	当初及び材料変化時									JIS・A1210	
		骨材のふるい分け試験	当初及び材料変化時	40~0mm									
	53mm		100%									JIS・A1102	
	37.5mm		95~100									JIS・A5001 表2参照	
	19mm		50~80										
	4.75mm		15~40										
2.36mm	5~25												
	修正 CBR 試験	当初及び材料変化時	粒状路盤 20%以上									舗装調査・試験法便覧(4)-5	
	425 μ m ふるい通過分の PI	当初及び材料変化時	9以下									JIS・A1205	
施工	現場密度の測定	1,000m ³ に1回	締固め度 % $\bar{X}_{10} \geq 95$ $\bar{X}_6 \geq 96$ $\bar{X}_3 \geq 97$ 但し10回に9回は93.0%以上 平板載荷試験 k30=15g/m ²		No.			No.				舗装調査・試験法便覧(4)-182	
		ブルーフローリング	仕上げ全区間について実施		良好 不良(内容: ※不良の場合の措置:)						舗装調査・試験法便覧(4)-210		
粒度調整路盤工	材料	突固め試験	当初及び材料変化時	40~0mm 25~0mm								JIS・A1210	
		骨材のふるい分け試験	当初及び材料変化時	53mm	100%								JIS・A1102
	37.5mm		95~100									JIS・A5001 表2参照	
	31.5mm		100%									舗装施工便覧(表-3.4.3)	
	26.5mm		95~100										
	19mm		60~90										
13.2mm	55~85												
4.75mm	30~65 30~65												
2.36mm	20~50 20~50												
425um	10~30 10~30												
75um	2~10 2~10												
	修正 CBR 試験	当初及び材料変化時	80%以上(アスファルトコンクリート再生材90%以上)									舗装調査・試験法便覧(4)-5	
	425 μ m ふるい通過分の PI	当初及び材料変化時	4以下									JIS・A1205	
施工	現場密度の測定	1,000m ³ に1回	締固め度 % $\bar{X}_{10} \geq 95$ $\bar{X}_6 \geq 95.5$ $\bar{X}_3 \geq 96.5$ 但し10回に9回は93.0%以上		No.			No.				舗装調査・試験法便覧(4)-182	
		粒度	1,000m ³ に1回	2.36mm ±15%以内 75um ±6.0%以内									舗装調査・試験法便覧(2)-14
アスファルト舗装工	材料	骨材のふるい分け試験	当初及び材料変化時	19mm 100% 13.2mm 95~100 4.75mm 55~70 2.36mm 35~50 600um 18~30 300um 10~21 150um 6~16 75um 4~8								JIS・A1102 JIS・A5001 表2参照	
			骨材の密度及び吸水率試験	当初及び材料変化時	表乾密度 2.45g/cm ³ 以上 吸水率 3.0%以下								JIS・A1109 JIS・A1110
		骨材中の粘土塊量試験	当初及び材料変化時	粘土、粘土塊量: 0.25%以下								JIS・A1137	
		粗骨材の形状試験	当初及び材料変化時	細長、あるいは偏平な石片:10%以下								舗装調査・試験法便覧(2)-45	
		フィラーの粒度試験	当初及び材料変化時	600um 100% 150um 90~100% 75um 70~100%								JIS・A5008 舗装施工便覧 表3.3.17による	
		フィラーの水分試験	当初及び材料変化時	1%以下								JIS・A5008	
ブルント	配合試験	配合ごとに1回 (50t未満は省略することができる。)			O.A.C	密度	理論密度	空隙率	飽和度	安定度	フロー値	O.A.Cとは最適アスファルト量 舗装調査・試験法便覧(3)-5	
		粒度	1日1~2回(抽出の場合)	2.36mm ±12%以内(基準粒度) 75um ±5.0%以内(基準粒度)								舗装調査・試験法便覧(2)-14	
	温度測定	合材抽出試験	アスファルト量	±0.9%以内								舗装調査・試験法便覧(4)-238	
		1時間ごと	配合設計の混合温度 185℃を超えてはならない									温度計による	
舗装工	現場密度の測定(コア密度)	測定値の記録1日4回(午前・午後各2回)	110℃以上									温度計による	
		1,500m ³ に1回	$\bar{X}_{10} \geq 96$ $\bar{X}_6 \geq 96$ $\bar{X}_3 \geq 96.5$ 締固め度 % 但し10回に9回は94.0%以上									舗装調査・試験法便覧(3)-91	
	1,500m ³ に1回	$\bar{X}_{10} \pm 0.55$ $\bar{X}_6 \pm 0.50$ $\bar{X}_3 \pm 0.50$ % 但し10回に9回は±0.9%以内									舗装調査・試験法便覧(4)-238		
	2.36mmふるい 1,500m ³ に1回	$\bar{X}_{10} \pm 8.0$ $\bar{X}_6 \pm 7.5$ $\bar{X}_3 \pm 7.0$ % 但し10回に9回は±12%以内									舗装調査・試験法便覧(4)-238		
75umふるい 1,500m ³ に1回	$\bar{X}_{10} \pm 3.5$ $\bar{X}_6 \pm 3.5$ $\bar{X}_3 \pm 3.0$ % 但し10回に9回は±5.0%以内									舗装調査・試験法便覧(4)-238			